

今月のこの1冊

江戸っ子の倅 池部 良 著
戦後の二枚目俳優として知られる池部良には、文筆家としてのもうひとつの顔がある。ユーモアとウィットにとみ、歯切れのいい言葉が並ぶ。文章に手ずからの画も添えられている。

本書はそのタイトルの通りに両親とも生粋の江戸っ子の家に生まれた著者の子どものころの思い出や軍隊生活、はては奥様との出会いなど多岐にわたっている。

2010年10月に亡くなる直前まで執筆されていた随筆も収められている。



新着本案内 (主なもの)

- ★ 一般書 ★
- 「家族の歌」 河野裕子
 - 「思い出をなくした男」 鍋木蓮
 - 「起業の砦」 江波戸哲夫
 - 「たぶらかし」 安田依央
 - 「囲碁小町嫁入り七番勝負」 犬飼六岐
 - 「時こそ今は」 太田治子
 - 「坂物語」 佐藤洋二郎
- ★ 児童書 ★
- 「ぐりぐりくん」 五味太郎
 - 「ねむくなんかない！」 ジョナサン・アレン
 - 「はるねこ」 松成真理子
 - 「いっしょならもっといい」 ルイス・スロボドキン
 - 「竜の座卓」 朝比奈恭子

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇「こどもの読書週間」特別子どもの広場
内容 「お花のえんぴつ」をつくります
日時 4月24日(日) 10:00～
持ち物 はさみ カラーペン
対象 5歳(保護者同伴)～
場所 町民センター2階 中会議室B
申し込みは直接図書室へ または、☎82-5221

◇おはなし会 (第2土曜日、第3水曜日)
日時 4月9日(土) 10:30～
4月20日(水) 15:00～
場所 町民センター3階図書室
申し込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう！

● 家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にし、読書活動の定着・推進を図ります。

*文芸

開成町俳句協会 俳句

野仏も衣はしがる別れ霜
奥津ちわき

日の光寄せて来るなり別れ霜
遠藤マツ子

抽斗にねむる旅券や雀の子
遠藤マツ子

春愁や朝ごと手にす血圧計
遠藤マツ子

遠くより浮かれ太鼓や雛まつり
芝田 みち子 選

ともしび短歌会 短歌

そちこちの雛の競演盛んなり
府川ハツエ

歴史を語る瀬戸家のひひな
府川ハツエ

空爆で吾の身代はりに焼失の雛
石井はま江

雛を思ふ節句のたびに
石井はま江

二月詠

河津桜愛で菜の花賞でて着く郷に
諸星 末子

摘みし雛の微笑みに会ふ
諸星 末子

河津桜と菜の花の取り合わせは、今や各地で定着。その観賞振りを「愛で・賞で」と堪能した後、ご当地では、微笑みに満ちた雛と出会い、感激したという。弥生の風物詩を見るようで心和む一首。

雛は、各地で飾られ、特色と伝統を競い合うかのように、その土地の文化を象徴している。地元瀬戸家のひひなは、種類・数も豊富で歴史と見応えがあり、賞玩されているのが分かること詠んだ歌。

雛人形は、華やかな面ばかりでなく、悲しい物語もある。桃の節句に、いつも思い出すのは、空爆で焼失した雛人形のこと、人形が本来担うという役目を意識させられることである、と詠っている。

近藤 正臣 選



ぶらりと歩きながら開成町の文化を発見、歴史を再確認してみませんか。開成町に残る遺蹟を紹介します。



開成小学校



旧開成小学校があったあたり



明治時代になると、こどもたちは最低四年間、小学校に行くことになり、酒田村吉田島村の小学校は、延沢の西福寺(益習館)、金井島の香徳院(益習館が移転、のち金井島校)、牛島の盛徳寺(牛島学校)に仮に設けられました。明治十五年、いまの上延沢ふれあい公園東に校舎が完成し、開成小学校と名づけられました。開成とは、江戸幕府の開成学問所(いまの東京大学)からとったもので、中国の易経に出てくる開物成務につながるものと言われていました。明治四十一年、小学校は六年間義務制となり、開成小も児童数がふえ、運動会も全国的に義務づけられたため、明治四五年、現在の広い場所に移りました。その時の木造コの字型の旧校舎は、多くの卒業生を送りだし、昭和三十年と五十年の建て替え工事をへて、いまの校舎になりました。最近さらに児童がふえ、平成二二年、モダンな開成南小学校が開校しました。

ところで、明治時代の開成小は一時期、出席簿が成績順でした。いまの開成小でも旧校舎のトイレは、前に渡してある長い丸太の横棒によりかかり、壁に向かって用をたしました。小学生のみなさん、成績順の出席簿、丸太トイレの中にいる自分を、ちよつとだけ想像してみてください。

(文責 開成町文化財保護委員 井上東亜)

※お子さんも読めるようにふりがなを付けています。



松田警察署
延沢駐在所 ☎83-5434
吉田島駐在所 ☎83-5457

子どもを交通事故から守りましょう

4月は新入学の時期です
新入園児や新入学児童は、環境の変化への緊張感や通学の不慣れなどから衝動的な行動に走りやすく、自らの身を守ることに十分とは言えません。
新入園児や新入学児童に正しい交通ルールを身につけさせるには、家庭での交通安全教育が大切です。



「保護者の方へ」
子どもと一緒に通学路を歩きましょう
通学路を、実際に子どもと一緒に歩いて、危険な箇所、注意しなければならぬ点を教えてください。

子どもは「危険」とか「注意」などの抽象的な言葉の意味をよく理解できません。具体的に「何が危険」か、「どのよう」に注意しなければならぬか、などを教えてあげてください。

「ドライバーの方へ」
子どもの行動に注意しましょう
子どもは、不意に予想がつかない行動をすることがあります。子どもの姿を見かけたら、スピードを落とし、その動きに十分注意しましょう。特に、学校や公園の周辺などを通るときは、子どもの飛び出しなどを予測し、慎重な運転を心がけてください。また、交差点を右左折する際には、横断歩道上に子どもがいないか注意しましょう。